

第32回春季東日本中学生軟式野球大会
《 セカンド大会 》

1. 大会名称 春季東日本中学生軟式野球 セカンド大会 《仮称》
2. 大会目的 本大会は、海外派遣選手選考会を兼ね、中学生軟式野球を通じ、中学生同士の親睦・交流・健全育成と野球技術向上並びに国際交流拡大に寄与する為、中学生を海外に派遣し、世界の少年達と友好・親善を図り、国際感覚の養成と視野を拡めて世界平和に貢献することを目的とする。
3. 主 催 公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会（IBA-boys）
4. 主 管 公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会 中学部
5. 参加条件 第32回春季東日本中学生軟式野球大会参加チーム
初日試合の敗退チームを対象とする。
6. 会 期

競 技	第1日：5月4日（水）	第1試合	8:30	9:00
		第2試合	10:00	10:40
		第3試合	11:40	12:20
		第4試合	13:20	14:00
		第5試合	15:00	
	第2日：5月5日（木）	準決勝	9:00	
		準決勝	11:00	
		決 勝	13:10	
閉会式	平成28年5月5日（木）	15:00～		
	於：江戸川河川敷球場12面			
予備日	平成28年5月7日（土）・8（日）			
7. 会 場 江戸川河川敷球場（9面から12面）
8. 参加資格 中学生によって構成されたチームで、本大会の目的・事業に賛同する者で原則として単独チームに参加を認める。
9. チーム構成 代表1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー（有資格者）1名、選手20名以内とする。
10. 競技規則 2016年公認野球規則、公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携IBA-boys中学部運営規程細則、及び大会特別規定による。
11. 帯同審判 大会初日・2日目 各チームは審判2名帯同のこと
4人制を基本にするが、2、3人制を認める。
帯同審判員は、自チーム試合を審判する。
12. 大会使用球 全軟連国際大会使用球（ワールドB号）
13. 競技方法
 - a) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7イニングとし、1時間40分を過ぎて新しいイニングに入らない。
 - b) コールドゲームは5イニング以降で7点差以上をもって適用する。
 - c) 所定のイニング・時間終了時点で同点の場合は大会運営規定の特別ルールを採用し勝敗を決する。
 - d) 決勝戦は、コールドゲームを適用せず、9イニング迄の延長を認める。
 - e) 特別ルール（細則参照）
14. 表 彰
 - ①優勝チームには賞状、優勝カップを授与する。
 - ②準優勝チームには賞状、準優勝楯を授与する。
 - ③第3位チームには賞状、第3位楯を授与する。